

広 報

かわら

人口と世帯

人口 12,012(-5)

男 5,703(-7)

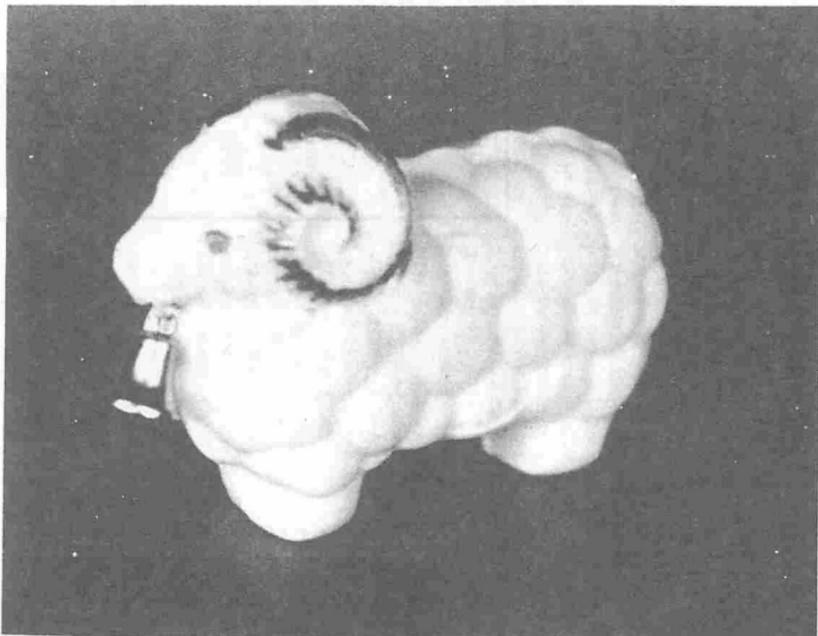
女 6,309(+2)

世帯 2,622(±0)

(12月末現在)

発行 河内村役場 編集 総務課広報係 発行日 昭和54年1月15日

No. 118



1979年 “初春”
あけまして おめで“とう
ご“ざ”います。

清潔にして明るい

高福祉の村づくりを



村長

杉山 貢

賀年

明けましておめでとうござ
います。みな様には一家お揃でよい
新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、私が村長に就任してから早や二期目も残り少くな
りました。その間、昭和四十七年のドルショック以来今日
の日本農業の一大転換期を迎
える迄、日本経済をめぐる諸
勢のめぐらしい変貌の中にも、村民各
位の深い御理解と御協力の賜
と衷心より感謝の意を表する
次第であります。

新年を迎えるにあたり心を新たにして「初心忘れず」、
清潔にして明るい高福祉の村づくりに情熱を燃やしたい所
存であります。

新年度への抱負の一端を申し述べますと、基本的には高福
祉の村づくりであります。先

一、成田国際空港建設騒音
対策（文教施設の改善整備
民家防音対策及び周辺対策
費の増額）
二、農業の振興と水田再編対
策（農村総合モデル事業の
推進と水田再編対策に伴う
暗渠排水渠の整備等、
御協力と御懇達により村行政
の各般に亘り、堅実な進展を
遂げてまいりました。

「和」をもって信条とする
私の村政への基調に、村民各
計りたい所存であります。

この多幸を心から御祈念申し
上げましてご挨拶いたしま
す。

委員長	秋山 千晴	副議長	実栄	議長	福智	副議長	小更	議長	沼崎	教育長	正	委員長	村長	杉山 貢	委員長	岡野 四郎
委員会	ほか職員一同	所長	金江	所長	和泉	所長	慶之	所長	正	委員長	大野 豊彦	委員長	野高 貴雄	委員長	橋本 新正	
議会	ほか職員一同	副議長	内田 喜男	副議長	大原 大原	副議長	秋山 七郎									
事務局	ほか職員一同	監査委員	飯塚喜治夫	監査委員	福智 実	監査委員	秋山 宗									
消防団	ほか職員一同	副團長	大野 光一	副團長	森崎 七郎	副團長	秋山 七郎									
	ほか職員一同	藤本 蕭	荒井比呂志	藤本 蕭	藤本 蕭	藤本 蕭	藤本 蕭									

航
空
機
騒
音
測
定
結
果
中
間
報
告

新東京国際空港の航空機騒音について村当局は、開港前のテスト飛行、慣熟飛行のとき、開港直後の五月二十一日から現在まで、村内各地域（延べ三十九地点）において騒音測定を行ってきました。この間、測定時間は延べ一、二三五時間におよび、測定機数は延べ五、六六一機に達しています。特に九月に行なった測定は十六日から二十二日まで一週間の連続測定（朝六時から夜十一時まで）で、このデータも含めて、村内の騒音実態がかなり正確につかめました。

(県状況は)

茨城県でも環境庁告示「航空機騒音に係る環境基準について」に基づき測定し、評価

資料とするため十一月五日から連続一週間の測定（稻敷郡）

内七地点、うち河内村は二地点）を行い、現在データ整理

を急いでいます。これらの実態調査結果を総

合すると、稻敷郡内の騒音の範囲、騒音の大きさなどが、

県では、この調査結果を開

係審議会に図り、知事は関係

市町村長の意見を聴き政令の

定めにしたがって「航空機騒

音対策基本方針」を定めるこ

とになります。

この基本方針の概要是

一、障害地区の位置及び区域

二、障害の防止に配意した土

一、障害地区の位置及び区域

二、障害の防止に配意した土

守するよう内外航空会社への電話の難聴について早急に防

止改善対策を講じること。

区域を最少限にとどめさせる
こと。

二、飛行時間の制限

飛行時間は朝八時より午後

九時までとし、朝夕二時間短

縮するよう措置すること。

三、公共施設の防音について

教育施設、保健施設、福祉

施設、共用施設等の防音

工事を早急に実施すること。

四、環境基準について

環境基準の見直しを早急に

行い、併せて指定区域の環境

基準早期達成を実現すること

五、民家防音について

四、に連絡して影響下民家の

防音工事を早期に実現する

			月 日	測定地点名	測定者	測定時間
(五月)	21・22日	中央公民館	公 团 (固定)	24 時 間		
		中田川	村			
	二日連続	金江津支所	村			
	二十二日	源清田小学校	村			
(六月)	九日	菊地医院	村			
	十二日	成田屋旅館	村			
	十五日	長竿小学校	村			
		中央公民館	公 团			
		源清田小学校	村			
		十三戸公民館	村			
		青年研修所	村			
		公 团 (固定)	村			
10 9 4 1 8	17 時 間	17 時 間	17 時 間	17 時 間	17 時 間	17 時 間
	7	6	5	4	3	2
						1

(下欄の番号は、各地点の場所を表すものです。
(次ページ下段につづく)

五十三年・騒音測定日時表

七、空港周辺対策交付金について
防音工事に係る公共施設等の起債償還費、維持管理費等の財政負担、及び区域住民に及ぼす被害補償としての空港周辺対策交付金を大幅に増額すること。
などですが、そのほか鉄道駅近く監視を続けています。

道路、広域消防設備等の周辺地域としての振興対策も併せて要望してきました。

なお、今後も村は、以上の機関に強く要望するとともにこれから発生するかも知れない、他の諸障害についても

要望事項を実現するよう関係機関に強く要望するとともに

問い合わせてまいります。

七、空港周辺対策交付金について
防音工事に係る公共施設等の起債償還費、維持管理費等の財政負担、及び区域住民に及ぼす被害補償としての空港周辺対策交付金を大幅に増額すること。

などですが、そのほか鉄道駅近く監視を続けています。

道路、広域消防設備等の周辺地域としての振興対策も併せて要望してきました。

なお、今後も村は、以上の機関に強く要望するとともに

要望事項を実現するよう関係機関に強く要望するとともに

問い合わせてまいります。



53年 河内村騒音測定地点（位置図）

二十八日		二十六日		16日より22日まで連続して一週間測定										(九月)		七日		五日		（七月）		二十六日		十六日		十五日	
平川	下加納	青年研修所	生板小学校	源清田小学校	下町歩	和銅谷	片庄布川	中央公民館	流作	中田川	古河林	十里	庄布川	和銅谷	片卷	下町歩	庄布川	竹尾医院	下田川	中田川	下加納	中田川	下加納	中田川	(前ページ下段より続く)		
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	公團									
17時間	17時間	17時間	17時間	それぞれ	(119時間づつ)				17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間	17時間			
9 11 10	25 4 16	24 23 22	1 21 20		19 18 14	17 16 15			14	13 12	2 11																

9月 週連続・1日単位測定報告

1 騒音測定値

(9月16日から22日まで1週間連続測定)

地点名	田川	流作	中央公民館	片巻	庄布川	和銅谷
離着陸の別	離	着	離	着	離	着
最高値 dB	89	87	86	84	85	86
平均値 dB	79	78	76	70	74	75
WECPNL	74		71		70	
				71		
					68	
						71

(9月26日・28日 1日単位)

地点名	下町歩	源小	生小	青年研修所	下加納	平川
離着陸の別	離	着	離	着	離	着
最高値 dB	82	—	69	—	62	—
平均値 dB	73	—	65	—	—	73
WECPNL	68		60		—	
				68		
					68	
						65

- ※ ① 中央公民館・庄布川より流作・片巻・和銅谷がWの数値が高いのは離陸が多くしかも右施回のコースに近い為と思われる。これが着陸が多くなる(夏期)と逆に中央公民館の方が流作・片巻・和銅谷よりWの数値が高くなると想定される。
- ② 1日単位測定で測定できたのは離陸のみで、全て右施回でした。これが離陸で左施回になると、下町歩・源小・生小もWの数値がもう少し高くなると思われる。

2 騒音レベルの比率

(一週間測定)

測定地点名	田川	流作	中央公民館	片巻	庄布川	和銅谷
60dB以上(%)	99	99	95	99	86	98
70dB以上(%)	90	58	64	60	41	52
80dB以上(%)	22	7	6	8	2	6

※ 表の見方

(1日測定)

(例)

田川地点で100機測定した場合、その中で60dB以上のピークレベルを示す機が99機、70dB以上が90機、80dB以上が22機位の割合になる。

下町歩	源小	生小	青年研修所	下加納	平川
100	93	6	74	86	98
66	1	0	24	33	48
4	0	0	2	5	7

3 騒音の継続時間

(表A)

地点名	田川	流作	中央公民館	片巻	庄布川	和銅谷
60dB以上	5分22秒	5分37秒	4分13秒	5分49秒	2分24秒	5分44秒
70dB以上	2分14秒	11分49秒	11分32秒	13分55秒	4分14秒	11分56秒
80dB以上	1分38秒	29秒	17秒	39秒	3秒	30秒

次ページ(表B)につづく

1. 最高値

1機ごとの騒音のピークレベルを1週間又は1日通して測定し、その中で一番高い数値

2. 平均値

測定して得た個々のピークレベルを平均したもの

-WECPNL-

(うるさい指数)

自動車の騒音工場騒音などは普通ホンdBで表示されますが、航空機の騒音はその特殊な性格から国際基準によりWECPNLで表わします。音の質、大きさのほか、持続時間、回数時間帯等を総合的に組合せた騒音を表わす単位です。

W=荷重

E=等価

C=平均

P=感覚

N=騒音

(表B)

地點名	下町歩	源清田小	生板小	青年研修所	下加納	平川
60dB以上	40分10秒	20分34秒	1秒	31分27秒	34分58秒	28分32秒
70dB以上	7分45秒	0	0	7分1秒	7分59秒	7分42秒
80dB以上	9秒	0	0	9秒	3秒	1秒

※ 1機毎に 60dB以上、70dB以上、80dB以上のレベル別に維持時間を出し、1日測定した場合の平均のトータルを出したもの。

4 航空機騒音と暗騒音との比較

(一週間測定)

(1日単位測定)

測定地点名	田川	流作	中央公民館	片巻	庄布川	和朝谷	下町歩	源小生	生小	青年研修所	下加納	平川
暗騒音平均値	45	43	44	46	41	45	42	42	-	46	42	43
航空機騒音平均値	79	75	76	75	72	75	73	65	-	71	72	71
比較dB	34	32	32	29	31	30	31	23	-	25	30	28

※ 暗騒音平均値=航空機以外の通常騒音を平均したもの。

航空機騒音平均値=測定した個々の航空機の騒音を平均したもの。

比較=通常騒音と航空機騒音との差。

農村地帯である河内村は、都市部と違い暗騒音が低い。従って航空機による騒音との比較差が大きく、うるさく感じる度あいが強いといえます。

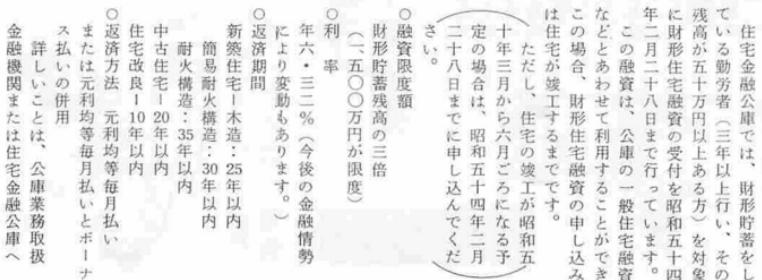
5 機種別騒音度及び機種構成比率表

機種	B747	B737	B727	B707	DC10	P C 8	L-10	A B 3	Y 6 2	VC10
機数	256	8	34	59	34	148	32	14	9	3
平均騒音度dB	77.5	72.6	77.1	82.1	73.2	79.7	74.1	72.2	79.1	85.0
機数	26	6	37	61	34	154	26	16	9	4
構成比率%	42.8	1	6.1	10	5.6	25.3	4.3	2.6	1.5	0.7

※ 平均騒音度は、田川地点で測定したものを採用し、機種ごとにうるささを出したもの。

構成比率は、流作地点で測定したものを採用し、機種ごとに占める割合を出したもの。

河内村における騒音の実態は離着陸の旋回コースの真下に位置するため、騒音区域は河内村のほぼ全域に及び、ここに掲げた騒音測定表の測定値は離着陸の別、コースのとりかたなどの運航状態及び季節の別、天候状態等各種の条件によって変化し、流動的でありきわめて特徴的な騒音区域といえます。



現況届は忘れずに

厚生年金などの老齢年金又は通算老齢年金を受けている方は、引き続いて年金を受けられる権利があるかどうかを確かめるために「受給者の現況届」を提出することになります。

現況届は、厚生年金保険、船員保険については毎年一月に、国民年金については毎年二月に提出することになります。

この現況届の用紙（ハガキ）は、厚生年金保険と船員保険について、昭和五十三年十二月中旬、国民年金については、昭和五十四年一月中旬に社会保険庁から直接本人あてに送られますから、その用紙に印鑑を押して、市区町村長の證明を受けて提出して下さい。



30%の犯人検査
警察が「一一〇番」の通报を受けてから、バトカーが現場に到着するまでの時間を、「リスボン・タイム」と呼んでいます。犯人の検査率は、当然ながら、このリスボンス

リスボンス・タイム

タイムが短いほど高くなりますが、印鑑を押して、市区町村長の證明を受けて提出して下さい。

△ 提出期限／
厚生年金保険と船員保険が昭和五十四年一月十五日、国民年金は、昭和五十四年二月

国民年金については住民課で年金係でもおたずねに応じます。

厚生年金保険と船員保険が受けたところ、二六・七%に検査率は落ちています。犯人の検査率は、素早い「一二〇番」で――。當然ながら、このリスボンス

税の知識

貯蓄と税

税

金の利子や、貸付信託などの収益の分配金は、一人一人三〇〇〇万円を限度として税金がかかりません。
②少額公債の利子…：國債や公募地方債の利子は、①とは別個で額面金額三〇〇万円までには稅金がかかりません。
③勤労者財産形成貯蓄の利子：給料から天引きして貯蓄する勤労者財産形成貯蓄の利子には、①②とは別個です。

一定の要件とは、①定期的に三年以上の積立をすること、②積立金は利子とともに全部を住宅購入資金にあること。③積立期間満了後、一定期間内に自分で居住する住宅（床面積が三五六坪以下）を購入すること。

なお、詳しいことは稅務署、税務相談室でお尋ねください。

十五日までです。
▲提出先／

西三ノ五ノ二四
〒168 東京都杉並区高井戸

私たちには、住宅の購入資金や思ひがけない出費などに備えて、預金をしたり公社債を買ったりして貯蓄をしている。これらの預金や公社債の利息には、利息所得として所得税がかかりますが、一定の手続きをすることによって稅金がかからない制度があります。

★ 住宅貯蓄控除で、住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件にあつまると、所得税の「住宅貯蓄控除」が受けられます。

で税金がかかりません。

これらのが非課税制度は、一般に「マル優」とか「特別マル優」といわれているのです。その他、郵便貯金の利息は原則として非課税です。

住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件にあつまると、所得税の「住宅貯蓄控除」が受けられます。

住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件にあつまると、所得税の「住宅貯蓄控除」が受けられます。

住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件にあつまると、所得税の「住宅貯蓄控除」が受けられます。

ふだんから

体に抵抗力を

運動などで体を

こわい余病誘発



インフルエンザ



予防とかかづたときの注意

睡眠を十分とり
栄養と休養のバランスを保つ
よくしたうえに、風邪ぐらいと思わず
体温の保持を
榮養のバランスを
考えた食事をすること。



そして安静第一に



しているときの外出は、
感染の機会が増えるだけ
でなく、はこりや冷たい
外気はノドを痛めます。
不必要な外出は避け、
どうしても外出をしなければならないときは、マスクをかけ、帰ったないうすぐうがいをするように
心がけましょう。

車やテレビ、電話などの生活
普及に支えられて、私たちの日常生活の行動範囲は、これと広がりました。通勤
通学はじめ、買い物やレクリエーションなどの生活
圏は、市町村の区域を越えて広域化しつつあります。「広域市町村圏」は、このような地域社会の変化に
対応して近隣市町村が共同で交通通信、防火、清掃、社会福祉などの事業を行なうものです。

この計画は、昭和四十四年
にも、市町村の約九割が、
「広域市町村圏」を構成し
ています。

暮らしの中の「広域市町村圏」

No.

①

年にスタートし、現在では全国で三百二十九圏設けられ、市町村の約九割が、「広域市町村圏」を構成しています。



主

第1回河内村種豚共進会開かる



豚を追う表情も見物客とは逆に真剣そのもの
(中央グランドにて)

豚を追う表情も見物客とは逆に真剣そのもの
(中央グランドにて)
二十三日、中央グランドでは、第一回河内村種豚共進会が開かれ、村内の養豚家の皆さん方が手塩にかけた見事な体格の豚を集めて行われ、最優秀賞(村長賞)には、宮本正二氏(源清田)

ランドレース(メ)
大ヨークシャー

ランドレース(メ)
大ヨークシャー
河内村畜生指導会長賞

ランドレース(メ)
大ヨークシャー
金江津農協長賞

ランドレース(メ)
大ヨークシャー
内藤英雄氏(金江津)

ランドレース(メ)
大ヨークシャー
河内村公民館長賞

ランドレース(メ)
大ヨークシャー
河内村畜生指導会長賞

祭は開催中の十一月二十三日、中央グランドでは、第一回河内村種豚共進会が開かれ、村内の養豚家の皆さん方が手塩にかけた見事な体格の豚を集めて行われ、最優秀賞(村長賞)には、宮本正二氏(源清田)

ジーン・アスクハイ
バッタヤマザキ三一七
本橋寛氏(長竿)

ト四一四
河内村教育長賞

大野光夫氏(源清田)
優秀賞(河内村議長賞)

大ヨークシャー

宮本正二氏(源清田)
優秀賞(河内村長賞)

サモト四一四が選ばれました。
以下、共進会結果

清田)のデカーツループ・ミ

竜ヶ崎普通所長賞

山田一美氏(生板)

内藤英男氏(金江津)

大ヨークシャー

県南共済組合長賞

木村良平氏(生板)

ランドレース(メ)

大久保栄氏(生板)

ロエチエボーラ

ヤマダ

源清田農協長賞

生坂義昌賞

大久保栄氏(生板)

ランドレース(メ)

大ヨークシャー

源清田農協長賞

河内村長賞

大ヨークシャー

源清田農協長賞

第11回(11月10日)
河内村操法大会

大会長より表賞を受ける自動車ポンプの部で優勝の第16分団員

十一月十日。河内村総合グラードにおいて、第十一回、河内村消防ポンプ操法大会が行われ、日頃の消防活動で鍛えた腕を競い合いました。
当時は、小型動力ポンプ操法と自動車ポンプ操法の二種目で行われ、小型動力ポンプの部では、第二分団が、自動車ポンプの部では、第十六分団がそれぞれ優勝しました。
以下、大会結果は
「小型動力ポンプの部」
落合明、落合貞、松沢岩男、優勝 第二分団
糸賀清、石山弘道、湯口善次、準優勝 第五分団
野沢秀輔氏といつた方々が、三位 第一分団
それぞれ他の賞に見事に入賞いたしました。

☆個人賞

指揮者 飯田能将 (16分団)

一番員 栗山好和 (3分団)

二番員 高橋衛 (16分団)

三番員 根本新也 (16分団)

四番員 茂木健二 (6分団)

以上の皆さんでした。

ダンスは友だち

秋季大会終る



社交ダンス『踏愛会』



かろやかなステップと音楽のうちに夜は更けてゆき、会も最高潮に（三周年記念パーティ）

「ダンスを通じて、友好の輪を広げよう」を合言葉に発足。以来三年、日頃いそがしい仕事の余暇を見つけては集まり、「社交ダンス」というコミュニケーションをとおして多くの人々と友好を深めながら、「社交ダンス」のもつ礼儀作法の厳しさと、マスターした時の喜びもひとしお。現在会員は十五名。より充実した楽しい会にと、会員全員ハリキッテいます。

十一月の三周年記念パーティも大成功におわり、会員たちは喜びもひとしお。現在会員は十五名。より充実した楽しい会にと、会員全員ハリキッテいます。

主催 中央公民館

優勝のモンスターズ（下金）

(当) 細谷武男氏	4,156票
	(16.691%)
(当) 横田栄一氏	121票
	(15.043%)
(当) 接井 洋氏	182票
	(14.891%)
田口正巳氏	874票
	(14.047%)
井原俊雄氏	871票
	(5.342%)
根本清蔵氏	926票
	(10.015%)
高柳 もと氏	138票
	(2.087%)
高野節雄氏	108票
	(1.694%)
吉田 浩氏	3票
	(9.3%)

※()内は県下得票数

投票状況

有権者数	投票者数	投票率
男 4,156人	3,548人	85.37%
女 4,439人	3,872人	87.23%
計 8,595人	7,420人	86.33%
棄権者数		
男 608人		
女 567人		
計 1,175人		

以上のような投票結果でした。

茨城県議会議員選挙 12/10 河内地区投票結果

野球（10月22・29日）、バレーボール（11月26日）の大戦があり、特に参加の多かった野球については、一次予選の後変則的に再度組合せの抽選を行い決勝トーナメントを行なった。

なお、今回のバレーボールの優勝チーム「長竿チーム」はその後、都大会に出場、堂々四位の好成績をおさめ、河内村のスポーツもよいよ地につけた感を深めさせました。

